

事務事業名	中間支援組織育成確保事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉	所属G	チャレンジ創生G	課長名	熱田勇二
	施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進	担当者名	野々村一彦	電話番号	0854-40-1011
	目的・対象	市民 意図 まちづくりの課題を主体的に解決する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 1 0 0 1 項 目 中事業 中事業 0 5 3 5 1 9	(内線)	2332
	目的・対象	活動している市民 意図 活動のリーダー・担い手を確保する。				企画総務管理事業 若者チャレンジ推進事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 27 年度 ~ 31 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
社会起業や地域課題の解決に向けた若者チャレンジを促進するため、「中間支援組織」と連携し、都市圏等より課題解決スキルを持つ人材や、若者支援コーディネーターとして多様なネットワークと専門スキルを持つ人材を誘致し、課題解決ビジネス創出に向けたチャレンジを支援する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ・若者支援コーディネーター配置(3名)による幸雲南塾生や若者等の相談対応・活動支援 ・社会人インターン(若手看護師3名)の中山間地域での訪問看護事業のビジネスモデル化支援 ・業務委託に関する事務 ・地方創生交付金に関する事務	28年度計画(28年度に計画する主な活動) ・若者支援コーディネーター配置(3名)による幸雲南塾生や若者等の相談対応・活動支援 ・市内金融機関・産業支援機関との連携体制の構築 ・市民ファンド構築に向けた調査研究 ・業務委託に関する事務 ・地方創生交付金に関する事務				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	若者支援コーディネーターの配置人数	人			3	3
イ	相談人数	人			62	70
ウ	相談件数	件			105	120
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	市内外の志ある若者	ア	市内の20・30代人口	人			5,955	5,955
		イ	若者支援コーディネーターに相談した20・30代の市外在住者	人			18	20
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)		
課題解決ビジネスを創出してもらう	ア	課題解決ビジネス創出数	件			3	4	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
・委託費 22,864千円 (中間支援組織育成確保事業運営業務)	財源内訳	国庫支出金	千円			22,000
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			864
	事業費計(A)	千円			22,864	
人件費	正規職員従事人数	人			2	
	延べ業務時間	時間			1,000	
	人件費計(B)	千円				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			22,864	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・幸雲南塾(大人版)の取り組みを通じて、志ある若者による地域課題解決へのチャレンジが増えつつある。 ・第2次総合計画及び総合戦略において若者や地域自主組織による地域課題解決に向けた活動を促進することとしている。	幸雲南塾(大人版)について、平成27年度より課題解決ビジネスの創出に向けた取組の強化と、若者チャレンジにつなげるための勉強会を開催するなどの改善を図った。事業成果を検証し、今後、必要な改革改善を継続的に行っていく。	市議会からも若い世代の人材育成に関して積極的に取り組むべきとの意見を頂いている。

事務事業名	中間支援組織育成確保事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題見える化し、課題解決に向けた市民・若者のより一層の参画を促す。</li> <li>・地域自主組織、金融機関・産業支援機関等との連携体制を強化し、より多くの課題解決ビジネスモデルを創出する。</li> </ul>	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	総合計画・総合戦略の実現に向け、専門スキル・ノウハウ、また多様なネットワークをもつ中間支援組織との連携が不可欠であるため。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		事業目的(対象と意図)が類似しており、H28年度において事業統合を図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		課題解決型人材育成確保事業
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	事業統合や事業の検証等を通じてコスト削減を図る。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	NPO法人への業務委託により、業務時間は可能な限り削減しており、これ以上の削減余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	業務委託に当たっては、企画提案の公募により委託先を選定している。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	若者等の相談対応は、広く、公平に行っている。		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	Iターンの若手看護師3名による訪問看護事業所が立ち上がるなど課題解決ビジネスモデルの創出が図れた。地域自主組織との連携も進みつつある。さらに成果を高めていくために、地域課題の見える化や金融機関・産業支援機関との連携体制の構築が必要である。		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																						
		削減	維持	増加																						
成果	向上	●																								
	維持			×																						
	低下		×	×																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決型人材育成確保事業(幸雲南塾の運営)と統合し、事業コストの削減と成果向上を図る。</li> <li>・課題解決ビジネス創出を促進するため、引き続き中間支援組織と連携し、若者支援コーディネーターを配置するとともに、市内金融機関や産業支援機関との連携強化を図る。</li> <li>・地域課題の見える化や地域自主組織との連携促進を図る。</li> <li>・若者による地域課題解決活動が継続的に成果を生み出していくために必要となるヒト(仲間)、モノ(資源)、カネ(資金調達)の支援の仕組み(市民ファンド)の構築に向けて調査研究を進める。</li> </ul>		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																								